

闇に舞うハンター!!

フクロウ

狩りのために進化した体!!

★ フクロウは、肉食動物。

- ほ乳類 (ネズミ、ウサギ)
- 鳥類
- 昆虫類
- 両生類
- は虫類

※ 一番よく食べられているのは、丸のみしやすい野ネズミ

◎ペリット

トリ肉を食べたフクロウのペリット



食べた餌の骨・羽・毛など、消化できないものをかたまりにして吐き出したもの。

夜行性でナゾが多いフクロウの食性を知ることが出来る手がかり!



④ フクロウは、^{ヤスシ}まっ暗な夜の森の中でもよく見える目をもっています。

⑤ ^{くちばし}視界をジャマしないように、^{くちばし}下の方に曲がっています。意外と口幅が大きく、獲物は^{くちばし}簡単に食べられます!!



ヒヨツバ

⑥ 太く頑丈! 長く鋭い爪が生えています。前後2本ずつに付いていることが多く、獲物や止まり木をしっかりつかむことができます!



爪は... 前足・後足の爪にも使えます



ヒヨツバ

⑦ 左右で平行ではなく、ずれた位置についていることで、音を立体的に聞くことができます。20~30センチ積もった雪の下にいる獲物の位置も、正確にとらえることができます。

◎狩りのスタイル

フクロウはふつう夜間に木の上で獲物を待ちぶせ、音もなく飛びかかって仕留めます!



止まり木の上のフクロウ

フクロウの羽。毎年抜けるよ!



⑧ やわらかく、特殊な構造のため、^{くちばし}獲物をとらえることができます! このことから、フクロウは、^{くちばし}とされています。優れた防水・防寒効果をもつフワフワな羽。外側はうすさを巻くような気流をつくるノコギリの歯のような「ザギザ」構造。

子育てがはばるゾ!



★ 産卵から抱卵(卵を温めること)、抱雛(雛を抱いて温めること)はすべてメスの役割。オスは狩りに専念します。子育て中で、獲物がたくさん必要な時は、日中でも狩りをします。

フクロウさん

ニシアメリカオオコハズクもフクロウさんのなかまです。



ニシアメリカオオコハズクの目は、
大きなレンズの双眼鏡のように
なっています。暗い場所でも明暗をはっきり
区別し、急激な動きを感知することが
できます。視覚と聴覚で獲物との
相対位置を立体的に見定めます。

ニホフクロウの

メスとオスの見分け方

おうほん
横斑が太く
全体的に
黒っぽい



卵を温める時に
周りの景色と溶け込め
る事ができる
メスの方が体が
大きい!

メス ♀

おうほん ほそ
横斑が細く
全体的に
白っぽい



雪の多い地方に
棲んでいるので
狩りをする時に
同化する事ができる

オス ♂

★ヒナは胸元を見よう!



フクロウの

トレーニング

◎ フクロウは、**猛禽類**という狩りする鳥の仲間です。動物園で暮らすフクロウは飼育員がエサを用意するので狩りする必要がなく、運動不足になりがち。そこで、**体力・筋力の維持**のためにさまざまな**トレーニング**を行っています。適度に運動して、

元気に長生きしてもらいたい！
という思いから始めました。

フクロウ♂



フクロウは、猛禽類の中でも個性が強いタイプの鳥といわれています。そのコによって性格や動きのクセが違っているので、そのコに合わせたトレーニングの内容やペースを考え、行う必要があります。

ここでは、「フクロウの」ではなく、「フクロウの」トレーニングの内容をご紹介します！

トレーニング期間前に...

ウェイトコントロール

羽が生えかわる**換羽期**(5月頃~9月頃)の間は、きれいな羽が生えるよう食事はしっかり食べています。

換羽期が終り、トレーニング期間に入る直前に、餌の量を減らし、お腹を空かせて「**餌につられる状態**」にします。

◎フライトトレーニングの様子

餌の合図でフクロウを呼びます。



据え回し

人の腕に鳥を乗せ(=据え)、外を歩き回ることを**据え回し**といいます。

外の環境に積極的にさらし、かなり苦手... 車の音、人の大声や急な動き、カラスの鳴き声などに慣れさせます。外でのトレーニング中に周りを気にせず、集中できるようにするためです。

ジャンプアップ

餌の合図で飼育員の腕にジャンプしようとするフクロウ。グッ!と足に力が入ります。

床近くの止まり木から、人の腕まで飛び上がる動きをくり返す**ジャンプアップ**は、脚や翼の筋肉トレーニングになります。室内で安定してできるようになったら、外で行います。



フライトトレーニング

ジャンプアップである程度筋肉が付き、動きが安定してきたら、長めの距離を飛び**フライトトレーニング**を行います。

飛ぶという鳥本来の動きで、必要な筋肉が自然につくとともにリフレッシュにもなります。

よくできました!!
ごほうびのお肉を食べるフクロウ

「シロフクロウのふしぎ」



約270度回すことができる
(ひみつは首の骨の数が
多いので動きやすい。)



黄色い目は明るいときも
よく見える
(オレンジ色は薄暗いとき、黒い色は
夜がよく見えるよ。)



音の出にくい羽根になっている
(獲物に気付かれない。)



羽毛につつまれている
(さむい空気を吸いにくいよ。)



足も羽毛につつまれている
(雪の上でも冷たくないよ。)

★ とても寒いところに住んでいるので、羽毛でつつむことで露出を最低限としている